

じょうえつ  
市議会  
だより  
2021 No.212  
11月号

# 盆 かけばし

- 9月定例会 <令和2年度一般会計歳入歳出決算認定など32議案を審議> …… 2
- 市議会議員を体験！中学生模擬議会を開催 …… 10



高田城三重櫓

## 議会の様子を動画でご覧いただけます！

上越市議会



審議の様子をインターネットで生配信しているほか、録画配信でも視聴できます。  
上越市議会ホームページまたは下記のQRコードからご覧ください。

### ■本会議のインターネット配信



### ■委員会のインターネット配信



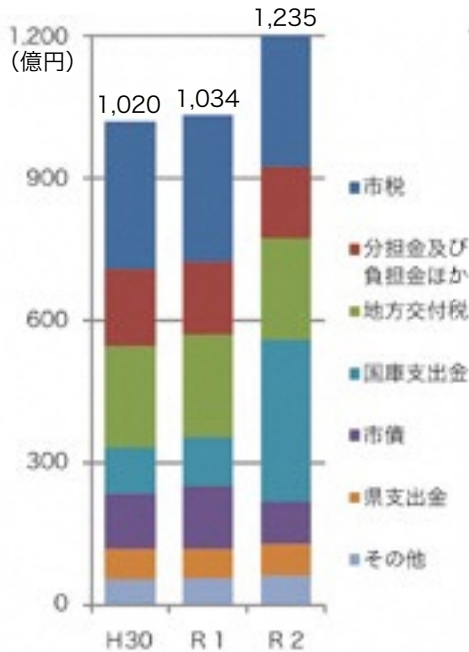
認定など32議案を審議

# 施策の成果

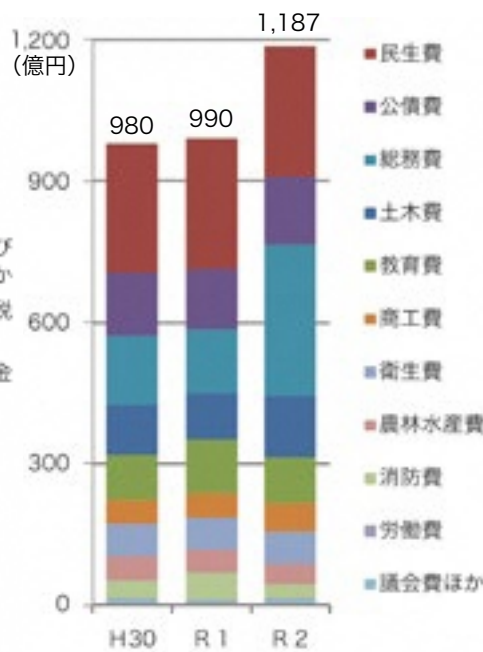
- 9月1日～2日（本会議） 発議案の採決（1件）  
市長による提案説明、総括質疑（8人）
  - 9月3日～15日（委員会） 4常任委員会の審査
  - 9月16日（本会議・委員会）  
追加議案の市長提案説明、総括質疑（1人）、  
3常任委員会の審査、追加議案の採決（1件）
  - 9月17日～24日（本会議） 一般質問（25人）
  - 9月28日（本会議） 討論（8人）、採決（30件）
- 議案と審議結果については9ページをご覧ください。

## ■決算額（一般会計）の推移■

### ■ 歳入



### ■ 歳出



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や大雪への対応などにより、合計13回にもわたる、過去に例を見ない累次の補正予算が編成された一年となりました。

## 総括質疑

総括質疑は、議案に対する概要と疑問点を説明するために行われます。今定例会では、輝、公明党、創風、市民クラブ、みらい、日本共産党議員団、会派に属さない議員（安田議員、宮越議員）が総括質疑を行いました。

### 新型コロナウイルス対応 取組の状況と成果は？

**問**／新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、市民生活への支援、地域経済への支援に資する取組の成果はどうか。

**答**／新型コロナウイルス感染症の拡大防止をはじめ、市民生活や市内経済を支えるため、国等の制度に基づく取組や市独自の制度による給付金の支給、事業活動継続のための助成等、様々な支援策を講じてきました。また、これらの取組は、市民や事業者の皆さんから意見を聞く中で見直しを行い、総合相談窓口では相談をしっかりと受け止め、必要な支援につなげることで安心な生活の確保等ができたと考えている。

### 移住支援の取組 成果と今後の見通しは？

**問**／移住支援の取組の成果をどう分析し、今後の移住についての見通しをどう考えているか。

**答**／令和2年度は当市の支援制度を利用して41世帯67人の方が移住された。コロナ禍を受け、新たにオンライン相談等に取り組んだ結果、8世帯16人の方が当市に移住され、市の情報発信や相談対応が移住を検討している方々の支援につながったと考えている。コロナ禍において、東京都の人口増加のペースが鈍化する中、東京都の隣接3県で人口が増え、42道府県の人口が減る状況であり、当市への移住者の大幅な増加は一朝一夕では困難と認識している。



# 新型コロナへの対応と

総括質疑

委員会審査

討論

論

審議結果

特集

集

一般質問



カーフェリー「あかね」に代わり令和3年4月29日に就航したジェットfoil「ぎんが」

## 佐渡汽船株式会社への支援

### 積算根拠と小木直江津航路に対する考えは？



小木直江津航路の維持に向け、新型コロナウィルス感染症の影響により減少した輸送人数に応じた運賃収入相当額を、佐渡汽船株式会社に支援するための補正予算が提案されました。

※関連記事8ページ

**問**／佐渡汽船株式会社に対する小木直江津航路維持に向けた支援金約2億4千万円の積算根拠を聞きたい。  
**答**／小木直江津航路の年間輸送人数5万1千人について、4月から7月までの計画人数と輸送実績との差の割合を求め、その割合をコロナ禍による影響とみなして、年間輸送人数5万1千人に乗じた人数、およそ3万5千人に片道運賃相当額を乗じた額を支援額の上限とした。

**問**／今後の小木直江津航路をどう考えているか。

**答**／同航路は、佐渡市民の生活航路として、また、当市及び新潟県の広域観光を支える観光航路として重要な航路であり、今後予定される佐渡金銀山の世界遺産登録や北陸新幹線の敦賀延伸、ポストコロナに期待されるインバウンドなどにより利用の増加が見込まれる中、当市としてもこの航路を維持していかなければならないと考えている。



佐渡汽船のりば

総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

# 財政調整基金 取崩しの判断基準は？

## 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定



### 財政調整基金とは

地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てるお金のことです。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害などやむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用します。一般家庭に例えると、貯金に当たります。



財政調整基金は大雪などの非常事態に活用されます

**問**／財政調整基金の取崩しや繰入れについて、一定の目安や基準を設けているのか。  
**答**／必要な事業の財源を賄う方法として既決算の流用や財政調整基金の取崩しを行ってきた。いくらまでなら大丈夫という目安は示していない。

## 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

### 上越妙高駅周辺地区 今後の発展の見通しは？

**問**／公的機関は新幹線駅周辺整備において、ある程度のリスクを背負うべきである。コロナ後を見据え、積極的に企画立案を行う考えはあるか。

**答**／土地区画整理事業の一番の目的は、在来線と新幹線の乗り継ぎの利便を図ることであった。企業や建物の進出は時間がかかる。最低限の区画道路及び都市区画道路を確保しており、今後時間をかけて発展していくものと考えている。



### 広報上越の発行回数 見直しに伴う対応は？

**問**／広報上越の発行が月1回になり、掲載記事や催し物の案内がタイムリーでなくなった点をどう工夫したか。

**答**／公式SNSを活用して市政情報を発信している。また、催し物案内の掲載締切を広報上越の作成日程表でお知らせするなどしている。



令和2年4月号から月1回発行

### 消防団員の定数削減 団員の待遇改善は？

**問**／消防団の需要が変わらない中で定数削減は、1人当たりの負担増につながるため、待遇改善の必要があるのではないか。  
**答**／団の体制を整理して訓練にかかる負担を減らすことを協議している。



消防団が実施する水防訓練の様子



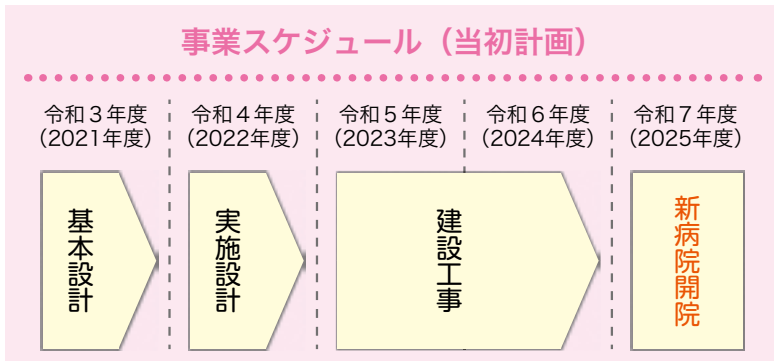
注目!

# 上越地域医療センター病院 建て替えの見通しは？



現在の上越地域医療センター病院

## 令和2年度病院事業会計決算認定



**問**／上越地域医療センター病院の建て替えはどの程度遅れるのか。  
**答**／明確に言えないが、早期の着工を目指して作業を進めている。

## 厚生

健康づくりや多種の福祉施策、環境保全など市民に身近な議案等を審査しています。

## 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

**待機児童  
年度途中の状況は？**

**問**／年度当初に待機児童がいないことは承知しているが、年度途中の状況はどうか。  
**答**／年度途中の待機児童は令和2年度は169人、令和元年度は149人、平成30年度は183人と、大体150人程度で推移している。しかし、特定の園を選ばなければ、入園可能なところもあるという案内はしており、翌年度には入園できている。

**子育てジョイカード  
制度の検討状況は？**

**問**／令和元年度の決算で、子育てジョイカードについて協賛企業の意見を聞きながら制度の検討をするとしていたが、検討の状況はどうか。  
**答**／アンケートの結果、利用の多いスーパーマーケットなどでは、年間100万円以上負担している企業が61・54%、500万円以上は38・46%であり、現状維持を希望する企業が非常に多い。このため、制度の対象を広げることは難しいと考えている。

**専門職後見人の受任体制強化  
市の関わり方は？**

**問**／権利擁護<sup>ようご</sup>事業補助金で、社会福祉協議会として専門職後見人の受任体制の強化に取り組むとしているが、市はどう関わるのか。  
**答**／専門職の団体が集まる会議を開催し、皆で考える機会を持ちたい。



このマークのあるお店でサービスが受けられます

農政建設

農林水産業や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業等インフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

# ウッドショック 国産材の安定供給に向けた体制づくりは?

■令和2年度一般会計歳入歳出決算認定



## ウッドショックとは

新型コロナウイルス感染症がアメリカの新築住宅需要をもたらし、木材の価格に影響を与えています。世界では、建築用木材需要増の結果、木材価格高騰が引き起こり、その影響が国内にも及んでいます。

**問**／世界的にウッドショックという状況にあるが、国産材を安定的に供給できる体制づくりの方向性はあるか。  
**答**／急な増産への対応は非常に難しい。ウッドショックにかかわらず、森林保全に引き続き取り組んでいきたい。

■令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

## 雪中貯蔵施設ユキノハコ施設を組み合わせたPRは?



**問**／ユキノハコは観光対応型の施設であり、物産館とそばどころの3つで相乗効果が生まれると考えているが、施設を組み合わせたPRは行っているのか。  
**答**／当初から道の駅として整備した施設であり、雪室貯蔵の商品を提供、販売するなど、連携した取組を行っている。さらに、コロナ禍収束後はユキノハコの見学者と一緒に各施設を有効活用し、にぎわいの創出につなげていきたい。

(写真) 左から「雪だるま物産館」、雪中貯蔵施設「ユキノハコ」、「雪むろそば家小さな空」が立地する道の駅「雪のふるさとやすづか」

■令和2年度ガス事業会計決算認定及び利益の処分

## 地中熱融雪設備 昨冬の大雪での効果は?



ガス水道局庁舎の堆雪場に設置された地中熱融雪設備

**問**／昨冬の大雪における地中熱融雪設備の効果は。  
**答**／自然融雪と比較して16日早く駐車場全面が使用できるようになり、排雪費用約55万円が削減された。一方、昨冬の大雪では地中熱の効果は低減する現象が確認されており、様々な気象条件による検証が必要であることから、令和3年度以降も一定期間検証をしていきたい。



商業、観光業などに関する経済施策や、小中学校に関する議案等を審査しています。

注目!

# 水族博物館における 鯨類飼育環境の 検証結果への対応は？

## 検証結果を踏まえた対応

上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の提言を踏まえ、イルカプールの水位調整や日除け・防風壁の設置等の対応を行い、鯨類の飼育環境の維持向上に資する取組を推進します。

### ■所管事務調査

(水族博物館における鯨類飼育環境の検証について)



令和3年7月に文教経済常任委員会で日除け設置状況を視察しました。

**問** 防風壁の設置工事はイルカへの影響はないのか。  
**答** 軀体を改修するような大がかりな工事ではないため、イルカに与える影響はないと考えている。

総括質疑

委員会審査

討論

論

審議結果

特集

集

一般質問

## ■令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

メイド・イン上越  
今後の取組の進め方は？

**問** メイド・イン上越の認証制度が始まって9年が経過したが、今後はどのように進めていくのか。

**答** 9年で食品関係の特産品は100項目となった。今後は、より広く多く品物を増やし、信頼性を高め、ブランド力を向上させていく必要がある。信頼性、オリジナリティ、新規性、市場性という審査の観点に、健康志向や通信販売の基準も設けるよう検討を進めている。



「姉妹都市と上越市の観光と物産展」での認証特産品の販売

家庭でのオンライン学習  
実施に向けた見通しは？

**問** 令和2年度は、WiFi環境がない家庭への貸与等を目的にモバイルルータを整備したが、家庭でのオンライン学習の見通しは立っているのか。

**答** 10月末を目途に学校でiPadのアプリを活用した学習を行い、家庭に持ち帰って実際に通信がつながるか確認するという流れで準備を進めている。WiFi環境がない家庭にはモバイルルータの貸出しを行うが、それも難しい場合には学校で学習を行うハイブリッド的な方法で視野に入れている。





## 市長提出議案に対する討論

# 討論・採決

定例会最終日の9月28日、議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論が、9月16日と28日に議案の採決が行われました。

### 賛成の立場で

#### 〈輝〉

新型コロナウイルス感染症や昨冬の大雪などの不測の事態に的確に対応したことや、コロナ禍において、主要な財政指標が改善ないし過度な悪化を回避した点を評価するとともに、今後も不断の行政改革を進め、財政健全化比率を抑制しながら収支不足額の圧縮を図ることを期待し、全議案に賛成する。

#### 〈みらい〉

市民の生活に直結する医療・福祉・子育ての基礎的行政サービスを最優先に、公の施設の減収補填や新型コロナウイルス感染症に関する経済対策、豪雪対策に迅速に対応したこと、また、第3次上越市事業者支援金や飲食店などへの時短要請協力金にいち早く対応したことを評価し、全議案に賛成する。

#### 〈公明党〉

コロナ禍で打撃を受けた市内中小企業者に対するきめ細やかな経済支援をスビード感を持って行ったことや、大豪雪に対しても除雪費不足に追加予算措置をし、苦しむ市民の生活を守ったことを高く評価し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ全議案に賛成する。

#### 〈創風〉

子育て世帯の経済負担の軽減や妊産婦の医療費完全無料化の取組、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や地域経済支援の取組を高く評価する。暮らし・産業・交流の重点戦略に基づく今後の取組に大きく期待し、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ全議案に賛成する。

### 反対の立場で

#### 〈日本共産党議員団〉

子どもの医療費助成の拡充や鳥獣被害対策の強化等は評価するが、新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守る点で不十分だった点や、地域住民の安全安心に関わる総合事務所の宿直の廃止等を含め機能を縮小したことなどから、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、5議案に反対する。



## 附帯決議を可決しました

9月28日の本会議において、佐渡汽船株式会社に対する小木直江津航路の維持に向けた支援のための費用を増額するなどの補正予算案に対し、下記の事項を求める附帯決議を可決しました。

1. 予算の執行にあたっては、今年度の運行実績や佐渡汽船株式会社の経営状況をよく精査し、市議会への説明を行った上で、適切な時期に実施すること。
2. 佐渡汽船株式会社のさらなる経営改善計画やその取組状況、またその上での今回の支援の根拠と必要性について、予算執行後においても引き続き議会に対して説明を行うこと。
3. 小木直江津航路の維持にあたっては、早期のカーフェリー導入などの、就航船舶変更時に佐渡汽船株式会社に対して提示した条件が遵守されるように取り組むこと。
4. 上越市は、今後の佐渡汽船株式会社の経営改善状況や関係自治体及び関係機関の動向を注視し、必要な取組を適宜行うこと。また、小木直江津航路の維持と発展のため、上越市としても航路の利用促進や直江津港周辺の活性化に、より一層取り組むこと。



# 審議結果一覧

◎は全会一致、○は賛成多数、×は不採択

議案等番号	件名	審議結果	議案等番号	件名	審議結果			
決算	69	令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について	○	条例	85	上越市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	◎	
	70	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○		86	上越市ゲートボール場条例の一部改正について	◎	
	71	診療所特別会計歳入歳出決算認定について	◎		87	上越市教育プラザ条例の一部改正について	◎	
	72	介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○		88	上越市中小企業者向け融資に係る損失補償に関する条例及び上越市中小企業・小規模企業振興基本条例の一部改正について	◎	
	73	地球環境特別会計歳入歳出決算認定について	◎		89	字の変更について	◎	
	74	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	その他	90	市道路線の認定について	◎	
	75	病院事業会計決算認定について	◎		91	工事請負契約の締結について	◎	
	76	下水道事業会計決算認定について	◎	予算	92	令和3年度上越市一般会計補正予算（第3号）	◎	
	77	ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	◎		報告	4	専決処分した事件の承認について（令和3年度上越市一般会計補正予算（専第2号））	◎
	78	水道事業会計決算認定及び利益の処分について	◎		発議	3	上越市議会議員の選挙ポスター掲示自粛に関する決議について	○
79	工業用水道事業会計決算認定について	◎	4	議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議について		○		
80	令和3年度上越市一般会計補正予算（第2号）	○	5	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出について		◎		
予算	81	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	◎	6	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	◎		
	82	介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎	7	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書の提出について	◎		
	83	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	◎	請願	2	地域協議会の答申や意見書が市長の方針と対立した場合の運用について、別途、ルールの策定を求める請願書	×	
	84	下水道事業会計補正予算（第1号）	◎		同意	4	上越市オンブズパーソンへの委嘱について	◎

# 議員の賛否一覧

賛否が分かれるなどした表の網掛けの議案の賛否等を公表します。

議案等番号	議決結果	合計		みらい					創風					輝					日本共産党議員団			公明党		市民クラブ		会派に属さない議員									
		賛成	反対	ストラットン 恵子	高橋 浩輔	高山 ゆう子	中土井 かおる	宮川 大樹	本山 正人	石田 裕一	波多野 一夫	小山 ようこ	宮崎 朋子	池田 尚江	大島 洋一	江口 修一	武藤 正信	鈴木 めぐみ	橋本 洋一	小林 和孝	滝沢 一成	栗田 英明	平良 木哲也	上野 公悦	橋爪 法一	山田 忠晴	杉田 勝典	牧田 正樹	こんどう 彰治	安田 佳世	宮越 馨	丸山 章	渡邊 隆	飯塚 義隆	
69	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
70	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
72	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
74	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
80	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議3	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議4	可決	18	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願2	不採択	6	24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は賛成、●は反対。なお、議長（飯塚義隆）は採決には加わらない。

総括質疑

委員会審査

討

論

審議結果

特

集

一般質問

# 市議会議員を体験！ 中学生模擬議会を開催



上越市議会では、子どもたちが実際に議員を体験することにより、「身近な課題や将来の希望」について考え、また、自分たちの意見を表明することを体現する機会とするため、7月15日に清里中学校1年生の皆さんと市議会議場にて模擬議会を開催しました。

生徒はあらかじめ6～7人のグループに分かれて、地域の課題を学びながら質問項目を作成しました。当日は、普段、実際に議員が行うように演壇や質問席から一般質問をし、市長、教育長、部長役の議員が答弁を行いました。

## 生徒たちが考え、行政役の議員に投げかけた主な質問

- ▷ 上越市の人口減少について、どう対策していますか？
- ▷ 地球温暖化を防ぐためのCO<sub>2</sub>排出削減に向けて、市ではどのようなことに取り組んでいますか？
- ▷ お米など上越市の特産品を市外の人たちにも知ってもらうために、どのようにPRしますか？
- ▷ 中山間地域などにもコンビニやスーパーを造った方がいいと思いますが、どう思いますか？



## 参加された生徒さんと先生のご感想を紹介します

**大久保まほさん** 行政役の答弁は「私たちが上越の未来を変えていく」というものが多く、すごくわくわくしました。今までは、どのように上越市のことが決められているか知らなかったけれど、模擬議会を通じて、行政と議員が議会でお互いの意見を深め合っているのが分かりました。

**長尾史実さん** 人口減少対策に関する質問に対して、「皆さんが企画して活動してみたら、きつと清里が良くなる」という前向きな答弁があり、自分たちでやってみようという気持ち湧いてきて、さらに良いまちになるよう全力を尽くしたいと夢が広がりました。今回の貴重な体験をいかし、活気のあるまちにしたいと思いました。

**木南蒼空さん** 模擬議会ができたことは本当に貴重なことだと思います。普段、みんなが疑問に感じていることや困っていることを、私たちと議員の皆さんで議論を交わすことができとても良い機会になりました。

**新國雄介先生** 話合いを通じて、疑問や課題を整理・統合し、論点を絞り込み、実際の質問項目にまとめる過程、そして、実際の議場でそれぞれの役割を果たしながら発表した経験は、大きな財産となりました。生徒たちの問題意識の高さに驚かされましたし、改めて地域を見つめる良い契機となったことに感謝します。





ここが聞きたい！

# 一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。  
今定例会では25人が質問しました。  
※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)

総括質疑

委員会審査

討

論

審議結果

特

集

一般質問



ワクチン接種での差別をなくして！



**問**／新型コロナウイルスワクチン接種の有無により、差別的な言動が見受けられる。差別が起きないよう広く周知すべきと思うがどうか。  
**答**／ワクチン接種は、任意の予防接種である。市では接種による効果や副反応に関する正しい情報を周知してきた。ワクチンの接種を受けられない方や副反応の心配などで接種を希望されない人が、不当な扱いや差別を受けることがないように周知し、啓発に努める。

## 非正規労働者の労働条件改善を！

**問**／コロナ禍における最低賃金の引上げにより、特に中小企業の経営が厳しくなる。市内中小零細企業が最低賃金に上乗せして賃金を引き上げた場合に支援する考えはないか。  
**答**／今のところ考えていない。国では事業場内最低賃金を引き上げる取組を支援する業務改善助成金の制度が設けられている。

## 性的少数者などに対する偏見や差別の解消を

**問**／性同一性障害や性的指向を理由とする偏見や差別について、現状はどうか。  
**答**／市内では、目立った偏見や差別はないと認識している。引き続き、国や県、人権擁護団体との連携の下、相談機会の提供や市民啓発など、市民の理解を深める取組を進めていく。



残土搬入に対する市の対応は



**問**／板倉区内に県外から残土が搬入され、産業廃棄物の混入や搬入残土の管理などを心配する声が上がっているが、市の対応方針を聞きたい。



**答**／該当箇所は森林法の規定による林地開発行為を県が許可したものであり、県に確認したところ、「砂利の採取により採掘した地山を復旧するための盛土であり、適切に実施されるよう定期的な現地調査等で確認している。」とのことであった。その後、県が搬入残土への廃棄物混入を確認したことから、残土搬入を含めた開発行為の中止を通知しているとのこと、県では事業者から提出される改善に向けた計画書を審査し、行政指導を実施する予定とのことである。市としても県と連携し、生活環境の保全に支障が出ることはないよう状況を注視しながら必要に応じて指導を行っていく。



**市内の盛土  
緊急点検の結果は**  
杉田 勝典（公明党）



**問** 土石流特別警戒区域の緊急点検の結果は。

**答** 市内29か所が緊急点検対象になったが、地形改変は確認されず、直ちに土砂災害につながる危険性はないとの報告を受けた。また、市独自に危険性の高い1・2区域で緊急巡視を行ったが、土砂災害を誘発する地形変状は確認されなかった。引き続き、国の進める総点検と連携し、安全性の確保に努めたい。

**「プッシュ型行政サービス」の現状や課題は**

**問** デジタル技術をいかした申請漏れ防止策は。

**答** 既に同サービスとして公式アカウント・LINEによる市政情報発信を約1万人が活用している。今後、申請をオンラインで受け付け、決定内容をプッシュ型で知らせるなどの更なる活用で申請漏れ防止につなげる。利用者が希望する情報のみを選別し配信するセグメント配信も取り入れることで、一人一人のニーズに合った情報配信も可能になる。

**J Aの休耕田でのヨモギ試験栽培の可能性は**

**問** ヨモギなどの薬用作物の栽培の可能性は。

**答** お灸のもぐさや酵素ドリンク等の健康食品の原料として需要もあり、JAによるヨモギ栽培の有効性検証の情報共有し検討を進めたい。



**異常気象による  
豪雨災害の対応は**  
こたごつ 彰治（市民クラブ）



**問** 異常気象による災害が起きている。各種ハザードマップの見直しは検討するのか。

**答** 洪水ハザードマップは、想定する降雨の規模を「千年に1回降る大雨」に変更した。その他のハザードマップも随時作成更新している。  
**問** 豪雨対策としてのインフラ整備も急を要するが、考えを聞きたい。  
**答** 保倉川放水路整備や儀明川ダムの建設など国・県による大規模な事業を推進するプロジェクトが策定された。また、市もインフラ整備など必要な治水対策を進める。

**交通安全対策の徹底を**

**問** 千葉県八街市の飲酒運転死傷事故を受け、事業者などにどのような指導や啓発を行ったか。

**答** 交通安全計画の重点課題に「飲酒運転根絶」を盛り込み、注意喚起を進めてきた。今後もし上越警察署や安全運転管理者協会などの関係機関との連携を緊密にし、取組を進める。

**ふるさと納税に上越産品の活用を**

**問** 返礼品として上越産品を加える考えは。

**答** 市の施策や事業への共感、将来への関心を持ってもらうことに重点を置いている。実際に訪れるきっかけになるよう、観光施設の入場券や列車の乗車券などを返礼品として贈っている。



**佐渡観光と小木直江津航路  
維持に向けて**  
江口 修一（創風）



**問** 佐渡金銀山の世界遺産登録の進捗状況はどうか。

**答** 令和5年夏頃には決定される。

**問** 小木直江津航路の必要性についての市の考えは。

**答** 関西方面や中部方面からの観光客を迎える新潟県の西の玄関口として重要である。

**問** 佐渡汽船株式会社に対する2・4億円の補助金について、航路維持の確約はあるのか。

**答** 各種経営改善策とともに第三者出資等による資本増強で、会社全体でこの航路を維持するとしている。

**なおえつうみまちアート 成果と見通しは**

**問** この事業の成果と今後直江津をどのように変えていこうとしているのかを聞きたい。

**答** 現代アートのイベントは初めてであるが、多くの人たちが、街のために自ら関わっていきこうとする気持ちの醸成ができたのではないかと。これからの交流や産業の中心となるよう取り組んでいく。



佐渡島 大野亀



そらのみなど





**買物弱者対策 安心して生活できる環境に!**  
丸山 章 (無所属)



**問** 市内各地域で高齢者世帯が増加し、運転免許証の返納が買物弱者の増加に拍車をかけている。現状の対応策、課題、分析状況を聞きたい。  
**答** 人口減少等で商店の廃業、スーパーの撤退により買物に不便を生じている。朝市や大島やまざくらの運営のほか、コンビニや小売業者の移動販売場所の調整等に協力している。  
**問** 対象高齢者への買物代行サービス等の支援策を含め、今後どのように支援策を整えるのか。  
**答** デジタル技術の普及、活用など、環境変化を捉えながら日常生活に支障がないようにする。

**村山市政12年間の評価と今後の市政**

**問** 公約「3つの約束」の総合評価と「10項目の決意」の主な項目に対する分析評価「達成度、反省点、課題、改善点」について聞きたい。  
**答** 「人が輝く『住み続けたい・選ばれる』まちづくり」「地域再生と『新・価値』の創造による産業基盤づくり」「新しい公共により進化するまちづくり」に向け、子どもの医療費負担軽減、産業全体の基盤強化、市政運営を下支えする行政改革を進めたほか、必要に応じて充実・強化を推進したことで、一定の成果につながった。  
**問** 今後の市政に期待することは何か。  
**答** 人と地域の良好な関係性と共感が保たれ、心身ともにすこやかに暮らせるまちを期待する。



**米価下落に対する市の対応は**  
武藤 正信 (創風)



**問** J A えちご上越等の令和3年度のコシヒカリ仮渡金を前年比1,700円減とする報道があった。農業は当市の大きな基幹産業であり、経済に及ぼす影響は大きいと思うが、この状況をどう受け止めているか。  
**答** J A えちご上越等と一体となり、国の支援策を活用し、生産者に対し加工用米等への作付け転換を促し、ナラシ対策や収入保険への加入を呼びかけてきた。水稲が農業の中心を占めるため、経済が影響を受けることは必至であり、引き続き状況を注視していく。

**問** 来年度に向けての対応はどうか。  
**答** 園芸等との複合経営への転換による所得向上や、基盤整備の実施やスマート農業機械の導入等による生産性の向上等の対策を引き続き実施し、米価下落の影響に左右されない、強い産地づくりに向け推進していく。

**学校での新型コロナウイルス感染症対策は**

**問** 小中学校での対策はどうなっているか。  
**答** 国が示す指針にのっとり感染症対策を実施し、日々児童生徒等の登校時に健康観察表を用いて検温結果等を確認している。学校で感染拡大が確認されれば、全体像が把握できるまで学級や学校を閉鎖する。引き続き、子どもたちの命と安全を第一として感染症対策を徹底する。



**村山市政12年「財政健全化」の総括**  
石田 裕一 (みづの)



**問** 村山市政12年「財政健全化」の取組の評価と、第6次総合計画に掲げる「すこやかなまち」と地域が輝く上越々々を指す上で重要なことを聞きたい。  
**答** 就任後、直ちに行財政改革を進め、歳出削減、事務事業の見直し、市有財産の売却等を実施したほか、国に対し交付税算定方法の見直し要望を実施し、財政調整基金の確保とともに一定の財政基盤を確立できた。  
上越市でも人口減少が進み、各分野に大きな影響が出てくるが、地域や企業、市民の英知を集めて次世代につなぐまちづくりに期待する。



村山秀幸市長最後の答弁

**公の施設のインターネット環境整備状況は**

**問** コロナ禍でオンライン研修が多くなる中、公の施設におけるインターネット環境の整備状況と今後の考えを聞きたい。



浦川原コミュニティプラザでのWi-Fi環境整備の様子 (浦川原地区公民館)

**答** 平成27〜30年度にうみがたりなど39施設で無料Wi-Fiを設置したほか、今年6月にはオンラインプラザで有線による回線を整備した。今後もニーズを把握していく。



**強度行動障害のある方に  
更に寄り添うために**

高橋 浩輔（みどり）



**問** 強度行動障害の状態にある方やそのご家族に寄り添うために、まずはしっかりとした現状調査が必要と考えるがどうか。

**答** これまで相談支援専門員や地域包括支援センターを窓口にして聞いてきたため、行政として積極的に話を聞くことはあまりしてこなかった。今年から重度の子どもの保護者から話を聞き始めており、様々な状況が把握できつつある。

**問** 現状調査に基づき、今後の取組や対策を協議するための、強度行動障害に特化した研究協議組織等が必要ではないか。

**答** 当市には自立支援協議会をはじめ障害のある方の支援を協議する様々な枠組みがあり、その中でしっかりと協議し課題解決を図っていく。

**問** 県や市の行う研修が、受入れの拡大に必ずしも結びついていない。研修内容を現場でいかすためのコンサルテーション等の導入の検討は。

**答** 研修を受講する人は増えても、実際に受入れまで進んでいない現状がある。事業所間の相互協力体制を強化し、コンサルテーションも選択肢の一つとして検討を進める。

**問** 緊急時に柔軟に対応できる「駆けつけヘルパーサービス」を市独自で実施できないか。

**答** 緊急時の受入れ体制や対応は、少しずつではあるが整いつつある。今後も各事業所や医療機関等と連携しながら更なる充実を図っていく。



**CF活用による新しい  
サービスの展開を！**

ストラットン恵美子（みどり）



**問** 公の施設の改修や活性化となるイベント経費等に関し、市の財源に頼らずクラウドファンディング（CF）等を積極的に活用できないか。

**答** 施設の魅力向上や活性化のために指定管理者が企画する自主事業におけるCF等の活用は、指定管理者が判断するものである。一方、第4次公の施設の適正配置計画で現状維持とした施設について、一定額以上の修繕等は、施設の設置者である市が必要性及び優先順位を判断し、予算を確保した上で適時適切に対応する。

**地域包括支援センターの未来を見据えて**

**問** 統一化したICTシステムの構築は、業務の効率化につながると考えるがどうか。

**答** 現時点ではシステムの構築は考えていない。それぞれの受託法人が業務の内容ややり方に合わせて必要なシステムを導入している。

**上越市の偉人を教育教材とし、世界へ発信を！**

**問** 上越市の偉人を小中学校の教育教材（多言語）とすることで、子どもたちの郷土愛の育成や国際力向上、英語言語の習得につながると思うがどうか。

**答** 歴史上の人物や上越市の魅力等を紹介している上越観光NAV i等を各学校で紹介していく。



**小中学校の2学期制  
導入に向けた検討は**

山田 忠晴（公明党）



**問** 2学期制の導入を検討する考えはないか。

**答** 当市における2学期制について、平成17年度に校長会等での議論を経て、3学期制の良さをいかしながら授業時数を確保していくという結論に至り、導入は見送られた。その後、平成22年の上越市立学校管理運営に関する規則の改正により、長期休業の弾力的運用を可能とすることで、授業時数確保の課題を解決し、現在に至っており、それ以降、2学期制導入に関する検討はされていない。学期の切り替えがスムーズに行われていることを大切に、3学期制を継続していきたい。

**乳幼児の聴覚・視力検査の充実を！**

**問** 生後6か月までの乳児に対する新生児聴覚検査費用の一部助成について、妊娠の届出時に助成券として配布し、子育て支援をより一層充実させる考えはないか。

**答** 新生児聴覚検査の受診率は、令和元年度で99・6%、令和2年度も99%以上となる見込みであり、当該検査に対する保護者の理解が広く浸透している。検査費用の一部助成については、現時点では行う考えはない。







**大量の雪を使用する  
雪冷房設備設置の可能性は**  
小林 和孝(輝)



**問**／人口減少の中、雪国上越市として、大量の雪を活用する雪冷房設備を設置していく考えはないか。

**答**／冬期間に雪を貯雪庫に貯蔵し、その冷熱エネルギーを夏に利用する雪冷房設備については、冬の除排雪時に発生する雪を有効に活用できるだけでなく、二酸化炭素排出量も抑制できる自然環境にやさしい冷房システムであるが、安定的な稼働に当たっては、雪の量の十分な確保や雪の貯蔵倉庫部分の高額な建設コストといった課題がある。当市の雪冷熱エネルギーの活用については、これまでの取組で得られた知見、技術を最大限に活用した、雪中貯蔵による農産物等の高付加価値の取組に重点を置いて進めている。



**「ゼロカーボンシティ」宣言を**

**問**／脱炭素都市を目指し、「ゼロカーボンシティ」を宣言する考えはないか。

**答**／市を挙げて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すための取組が必要であるとの認識の下、令和4年度に予定している次期の上越市地球温暖化対策実行計画策定の機会を捉えて前向きな検討をしていく。



**ウッドショックへの  
経済対策を**  
本山 正人(みらい)



**問**／世界規模での新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、関連業界では、木材価格の高騰や品不足に苦慮している。輸入材から地域産材へのシフト等、市内製材加工業者の支援を目的とした「ウッドショック対策臨時交付金」を創設する考えはないか。

**答**／県は林業事業体に製材用材の増産を働き掛けているが、木材搬出に時間を要するため、急な増産対応は困難である。他県での支援は承知しているが、当市における増産供給が困難なことから現段階では交付金の創設は考えていない。

**問**／森林経営管理制度をいかにし、人工林整備の強化を進める考えはないか。

**答**／この制度は、市町村が仲介役となり、適切な管理が行われていない森林の所有者と林業事業体をつなぎ、整備を進めるもので、当市では吉川区河沢地区の森林の経営管理権を6月に取得し、管理を行う事業体を公募している。県内では当市が最も取組が進んでいる。制度を活用し、整備面積の拡大に向けて検討を重ねていく。

**問**／ウッドショックを機に林業従事者の後継者育成に対する支援を強化する考えはないか。

**答**／新規就業者を採用した林業事業体に対して、各種経費を助成する林野庁の「緑の雇用」事業等など、市もPRに努めている。今後の状況を踏まえ必要に応じて支援の強化を検討していく。



**コロナ禍で消費動向は  
どう変化したか**  
宮崎 朋子(創風)



**問**／コロナ禍前と比べた消費動向の変化は。

**答**／県内では一時「Go Toイート」「Go Toトラベル」により回復がみられたが、「外食」「旅行」は総じて消費が大きく停滞している状況が続いている。一方、「小売業」「サービス業」におけるインターネット等での消費増加が2桁台の伸び率であり、「巣ごもり」の消費もみられる。

**中心市街地活性化プログラムと商店街支援**

**問**／同プログラムは、ソフト事業（イベント等）で活性化を図る取組と認識している。今後、ますます市民との協働が必要と考えるがどうか。

**答**／現在、高田地区では若手店主による検討会の組織が、直江津地区では消費喚起イベントなど、自主的な取組が行われている。個々の積極的な情報発信を通じて、市民には街を楽しみながらプログラムの基本方針に基づく取組に参加していただくことを期待したい。

**問**／商店街の在り方は変化、多様化していくと考えるが、市としてはどう取り組んでいくか。

**答**／商店街は地域の財産である。後継者不足による廃業と空き店舗増が懸念されるが、最近ではコワーキングスペースの開設やテレワーク滞在の受入れ等を検討する事業者もある。寄り添った支援、まちなか居住の推進、まちの魅力づくりとマーケティングを積極的に支援していく。



**市民の暮らしと経済を守る  
思いきった対策を**  
上野 公悦(日本共産党議員団)



**問**／市長はこの間、新型コロナ禍において230億円を超える規模で市民の暮らし、市内事業者を守る対策を適宜講じてきた。しかし、そのほとんどが国庫支出金で措置され、実質市負担はわずかである。こうした中、年度末105億円ほどの基金残高が見込まれる。今が非常事態だ。基金を思い切って活用すべきではないか。

**答**／コロナ禍や大雪災害に対応するために49億円余りの基金を取り崩して対応した。今後も必要な支援は適時行っていく。

**問**／住宅リフォーム促進事業は前期分として7、500万円の事業費が計上されたが、1、812件の申請に対し、制度を利用できたのはわずか615件で、後期分はわずか2、500万円の予算だ。補正予算を組んで対応すべきでは。

**答**／総事業費は19・8倍と見込まれ、後期の事業効果も踏まえると一定程度の事業効果は得られると見込んでいる。計画どおりに進めたい。

**問**／えちごトキめき鉄道と北越急行は深刻な経営状況に追い込まれている。地域に不可欠な交通インフラを守るために公的支援を行う考えは。

**答**／両社とも赤字決算で、内部留保資金を取り崩して経営を維持している。えちごトキめき鉄道はコロナ禍で利用者が大幅に減少し、このままでは資金が底をつく。県や沿線自治体と連携し、国に支援や財政措置の拡充を要望していく。



**村山市長の行財政改革の  
取組の成果は**  
栗田 英明(輝)



**問**／村山市長の市政運営について、行財政改革を最も高く評価しているが、財政の健全化と行政改革はイコールではないと考える。令和4年までの財政計画は単年度収支が赤字となっているが、計画の立て方としてそれでいいのか。

**答**／計画値には不確定要素を含めた推計値が多くあり、その積み重ねでできていく。収支の均衡を図るよう努めたが、裏付けができなかったため、赤字のままの計画となったものである。

**問**／行政改革は基礎自治体としてのあるべき姿を追求するものであると考えるが、村山市長は自身の考える行政改革ができたのか。

**答**／事務事業の見直しや公の施設の適正配置などに取り組んできた。基礎的な行政サービスの安定的な提供に努めてきた。

**将来都市像「人と地域が輝く上越」の姿は**

**問**／人が輝くために男女共同参画の視点が大事だが、地域が輝くためには同様に地域の個性や特色をいかしたまちづくりが必要と考える。地域自治区制度はそのための仕組みになっていないのではないか。

**答**／市政全般に男女共同参画の視点が含まれている。地域協議会は女性や若い方の割合が低いことや地域の団体との連携が少ないなどの課題を解決していかなくてはならない。



**登校できない生徒に  
義務教育の確保を！**  
中土井 かおる(みんこ)



**問**／心身の不調等、様々な理由で登校できない生徒のため、オンライン授業を導入する考えは。

**答**／今年度から、不登校児童生徒に対してオンライン授業の試みを行い、学習情報端末を家庭で利用できるような準備を進めている。ネットリテラシー教育も以前から行っている。



**障害のある人が安心して避難するために**

**問**／障害のある人が慣れない避難所でも安心して過ごせるような、障害特性に配慮した体制づくりが必要ではないか。また、地域のSOSが出せない障害者への対応はどうか。

**答**／福祉と防災部局が連携し、障害別の特徴などをまとめた防災マニュアル等の作成も検討する。また、SOSの出せない要配慮者の調査を民生委員の協力を得て対応を検討していく。

**精神障害のある人の地域ケア体制の現状は？**

**問**／精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、地域課題を関係者等と共有する「協議の場」を設けることが必須事業となったが、当市における現状はどうか。

**答**／昨年から自立支援協議会で、医療・福祉・行政が精神科病院からの地域移行支援の在り方を協議している。





女子トイレに  
生理用品の常備を！  
高山 唯子（みづこ）



**問**／コロナ禍により生理の貧困が問題化した。現在、学校では子どもたちが生理用品を忘れたり突然生理になってしまった時、保健室で生理用ナプキンをもらうが、その返却を求めないことと子どもたちがいざという時に安心して使えるよう女子トイレに常備することはできないか。

**答**／本年2学期から全学校で生理用ナプキンの返却を求めないこととした。しかし、提供は子どもたちへの理解や支援などの教育的価値から、従前どおり保健室で渡すこととした。

**問**／子どもたちからは、休み時間が短いことや保健室まで遠いなどの理由から「トイレ内に常備してほしい」という声が多く聞かえてくるがどうか。

**答**／検討した結果、今までどおり保健室での提供が適当と判断した。

**問**／子どもたちは生理のリズムを察知することが難しく「はっ」とした時に女子トイレにナプキンがあることで、どれだけ安心できることか。こうした子どもの声が届く社会になり、多くの学校に広がってほしいと考える。年齢等も考慮し、保健室での提供と併せて女子トイレにも常備できないか。

**答**／子どもたちの気持ちに寄り添って、もう一度検討し、学校内において子どもたちが安心して使えるように常備していきたい。



上越市の魅力の創出と  
発信を  
安田 佳世（無所属）



**問**／地産地消推進の店認定事業の取組状況と今後の方向性はどうか。

**答**／「プレミアム認定店」の新設やスタンプラリーで巡る「地産地消推進キャンペーン」の実施を予定している。市民や当市を訪れる人へPRし、地場産品の認知度向上と、地産地消の底上げを図っていきたい。

**問**／農業分野の魅力を更に発信してはどうか。

**答**／上越市には、良質な米や上越野菜、郷土料理、棚田、雪室などの誇れる魅力がある。販売促進事業や体験交流事業、SNSの活用など、効果的な情報発信とPRを進めていく。

**問**／メイド・イン上越推進事業の取組状況と今後の方向性をどのように考えているか。

**答**／コロナ禍の状況を踏まえ、インターネットショッピングサイトでの販売促進も行っている。今後は、SNSでの更なる情報発信など、消費行動の変化に対応した取組を進める。

**問**／観光に関する取組の状況と今後の方向性は。

**答**／上越市観光交流ビジョンに基づき「観光マインドの底上げ」を重要なポイントと位置付け、各種事業を進めている。来訪者の価値観の多様化が進み、旅のニーズが変化している。今後、今ある地域資源の魅力向上と、SNSを通じた情報発信や地域の魅力を複数組み合わせるなど、見せ方にも工夫をしていきたい。



子育て支援の促進を  
鈴木 めぐみ（輝）



**問**／上越市子育てジョイカード事業について、交付基準を緩和することで子育て世帯への家計支援を促進すべきと考えられているがどうか。

**答**／カード利用者と協賛企業を対象にアンケートを実施した結果、カード利用者側は、交付対象を拡充することを期待する意見があった一方で、協賛企業側は、利用頻度の高い店舗の約9割が、3人以上の世帯を対象とする現行制度の維持を望んでいる。

**コロナ禍における子どもの貧困対策強化を**

**問**／コロナ禍が継続し、ひとり親世帯の経済的困窮が拡大していると指摘されている。また、ふたり親世帯においても世帯収入が減少して経済的に困窮し、食費などの生活費が削減されているという。市独自の特別給付金が必要と考えるがどうか。

**答**／4月からはひとり親世帯、7月からはふたり親世帯に対して、子ども一人当たり5万円の生活支援特別給付金を支給している。引き続き、制度の周知に努める。現時点では、市独自の追加給付については考えていない。





**複合災害時は  
屋内退避でよいのか**



平長木 哲也 (日本共産党議員団)

**問**／上越市地域防災計画に定める原子力災害事前対策は、どの程度進捗しているか。

**答**／進捗は様々であり、課題解決のため国・県と継続協議しているもの、昨冬の大雪災害時に複合的に発生した場合の対応をどうするかなど、本格的な議論はこれからというものもある。

**問**／アンケートでは避難経路を知っている市民の割合が低い。周知不足があるのではないか。

**答**／今後、周知に努める。

**問**／複合災害時の避難訓練はどうなっているか。

**答**／昨年10月の県の訓練では、地震との複合災害を想定し、原発周辺の避難道路の「啓開訓練」が行われたが、当市独自では、複合災害を想定した原子力防災訓練を行っていない。

**問**／複合災害時の屋内退避は危険性が高まるため、即時に避難すべきと思うがどうか。

**答**／原子力災害では、市町村を超える広域避難も想定されており、PAZ、UPZの各区域の住民が段階的に避難し、かつ、広域避難住民の受け入れができるよう「地域防災計画」を策定している。そのため、当市としては、複合災害も含め、「屋内退避」を基本としている。

**問**／食料の準備もない例も多いが、屋内退避は現実的ではないのではないか。

**答**／住民に対して事前の準備の必要性などの周知に努める。



**上越市は「観光PRが  
下手」を聞いて**



渡邊 隆 (無所属)

**問**／市を代表する観光イベントや史跡・施設、佐渡航路と、観光資源となる財産は多い。地利で言えば県内屈指の海岸線を活用するなどとした、マリンスポーツ等も視野に入れた滞在型観光の考え方や既設の工夫が必要ではないか。

**答**／独自調査による当市への旅行形態は、8割が日帰り、2割が宿泊となっている。市内宿泊業者への聞き取り状況では、宿泊の多くはビジネス出張と聞く。赤倉、長野、佐渡など、観光の最終目的地となる地域が近傍にあり、加えて、北陸新幹線、高速交通網が整備されたことによる移動時間の短縮が要因と分析する。

**問**／現在の産業と観光の部局を独立させ、例えば市内観光業者が観光企画に参画するような専門性の高い観光部署を創設すべきではないか。

**答**／佐渡金銀山の世界遺産登録は、しばらくないであろう当市の観光ビジネスチャンスであり、特別な考えで取り組むべき機会ではないか。

**問**／産業面と観光面相互の連携の中で、相乗効果を発揮するために現在の体制としている。本年7月から国の制度を活用し大手旅行業者から職員を1名派遣いただき、観光コンベンション協会に籍を置きながら旅行商品の企画、営業活動に取り組んでいる。当地の魅力発信、北陸新幹線の敦賀延伸や佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、国内外からの誘客につなげていく。



**大雪対策の準備は  
どうなっているか**



橋爪 法一 (日本共産党議員団)

**問**／7月の災害対策特別委員会、10月末までの「大雪災害対応の検証報告」を待たずに予算措置をする必要があるものもあるのではないかと指摘した。その検討結果を聞きたい。

**答**／除雪機未配備の保育園については、近隣保育園による応援体制の構築とあわせ、除雪機の配備を検討している。また、町内会などの緊急的な道路除雪に対する支援制度については、町内会長を対象に実施した「大雪に関する調査」の回答や他自治体の支援制度を参考としながら、制度の基本的な考え方を取りまとめ、現在、具体的な内容や実施手順について検討を進めている。最終報告で提案する大雪災害対応の各種事業については、具体的な実施方法を十分に調査、検討した上で、令和4年度

の当初予算編成の中で反映することを基本としつつ、早期に対応すると判断した事業は、今冬に備えるための予算を確保すべきと考えている。







**消雪パイプ管理の  
不平等を解消すべきでは**  
滝沢 一成（輝）



**問** 市道の消雪パイプの2割で沿線住民等が修繕や管理に係る経費を負担している。他と平等に無料とすべきではないか。

**答** 現在、他自治体の事例調査を行っている。また、地元町内会等に維持管理の実態や今後の意向等をお聞きし、在り方等の整理を進める。

**問** 昨冬の大雪を通して豪雪都市上越の在り方について語り継ぐべきことは何か。

**答** 高齢者世帯や通学する子どもの見守りなど、市民の中に自然と生まれた「共助」の姿が見られた。市民の生命、身体、財産を守ることは行政の責務であるが、「自助」「共助」を更に広げ、雪と共に暮らす『我がまち上越』の力強い市民の力を次世代へと引き継いでいただけるだろう。

**学力向上で子どもたちの未来を広げるために**

**問** 令和3年度標準学力検査の結果、全国との偏差値比較で、中学3年生は全て下回っているが、この結果をどう考えるか。

**答** 個に応じた指導が定着せず、一斉画一的に教え込む授業が多くなっているのが現状である。指導主事が教員の指導力向上を図り、カリキュラム・マネジメントの視点での授業改善に取り組んでいる。児童生徒は学力が付くことで、分かる喜び、学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたって学び続ける力が育まれると考える。



**上越市発展は  
5大ミスの脱却から！**  
宮越 馨（無所属）



**問** 上越市の発展過程で、①14市町村の大合併、②北陸新幹線のJR東と西との境界駅の機能放棄、③上越共同火力発電所の本社機能の喪失、④全国一の地球環境都市からの脱却、⑤「のびやかJプラン」の否定が大きなミスであり、それらからの脱却が必要と考えるがどうか。

**答** 第6次総合計画の着実な取組をもって、上越市の発展に努めていきたい。

**ふるさと納税には返礼品を活用すべき**

**問** ふるさと納税について返礼品を活用しない方針を頑なに堅持する、その真意は何か。

**答** 地方自治体が金額の多寡を競い、寄附の獲得額と税の流出額の損益を論じるべきでないと考えており、当市におけるこの制度の運用に当たっては、制度本来の趣旨を大切にしている。

**子供年金制度導入に向けたニーズ調査を**

**問** 市は、人口政策として「子供年金」制度の導入に向けた「第3子以降のニーズ調査」の実施を頑なに否定するが、人口減少対策は可能性が少しでもあるならば挑戦すべきではないか。

**答** 市の財政運営に多大な支障が生じることや人口減少への抑止効果に結び付く確証も得られないことから、子供年金制度を導入する考えはなく、ニーズ調査を実施する考えもない。

**令和3年12月定例会の予定**

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29	11/30	12/1	2	3	4
		本会議 総括質疑等	文教経済 常任委員会	厚生 常任委員会	農政建設 常任委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	総務 常任委員会	本会議 一般質問				
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 採決等				

※この日程は、諸会議等により変更となる場合があります。正式には11月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。

仕事帰りに！休日に！ご参加ください！

# 議会報告会・意見交換会



発行／上越市議会

発行日／令和3年10月25日

責任者／議長 飯塚 義隆

編集／広報広聴委員会

〒943・8601 新潟県上越市木田1・1・3  
TEL 025・526・5111 FAX 025・526・7575

E-mail: gikai@city.joetsu.lg.jp  
https://www.city.joetsu.nigata.jp/site/gikai/

11月6日(土) 午前10時～

浦川原コミュニティプラザ  
(浦川原区釜淵5番地)

11月8日(月) 午後6時30分～

大潟コミュニティプラザ  
(大潟区土底浜1081番地1)

11月9日(火) 午後6時30分～

はーとぴあ中郷  
(中郷区二本木1763番地)

11月10日(水) 午後6時30分～

名立地区公民館  
(名立区名立大町200番地1)

- 9月定例会の審議内容等について報告するほか、参加者の皆さんから幅広く意見をお聴きします。
- 当日は、この議会だよりが資料となりますのでお持ちください。
- どなたでも、どの会場でもご参加いただけます。途中参加、途中退室も可能です。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、自宅にて検温いただき、体調の悪い方は参加をお控えください。また、マスクを着用してご参加ください。



※12月定例会の日程は、19ページをご覧ください。

## Facebook 配信中！

本会議や委員会の開催など市議会の情報を発信しています。皆様からの「いいね！」をお待ちしております。



### 広報広聴委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◎池田 尚江      ○宮越 馨      安田 佳世  
鈴木めぐみ      スラットン恵美子      高橋 浩輔  
宮崎 朋子      山田 忠晴      牧田 正樹  
平良木哲也      飯塚 義隆

## 編集後記

9月議会は村山市長最後の議会となり、一般質問ではねぎらいの言葉が多くかけられました。いずれも市民から選ばれた市長と議会は、時にはお互いの主張がぶつかり、熱い議論が交わされます。12月議会では新市長との論戦にご期待ください。

広報広聴委員会 牧田 正樹

次号は、令和4年1月25日発行です。

2021.11 じょうえつ市議会だより (20)

